

What an OHINATAful World

～この素晴らしい おおひなたごうの 世界～

基本情報

期間

2024年3月14日[木]～6月25日[火]

開催回数

91日

会場

京都国際マンガミュージアム 2階
ギャラリー 1・2・3

主催

京都国際マンガミュージアム/
京都精華大学国際マンガ研究センター

協力

横手市増田まんが美術館/
(一財)横手市増田まんが美術財団

テキスト執筆

具本媛/ユースギョン

英訳

ユースギョン

担当

具本媛(京都精華大学国際マンガ研究センター)/
ユースギョン(同)/
大谷景子(京都国際マンガミュージアム)/
新美琢真(同)

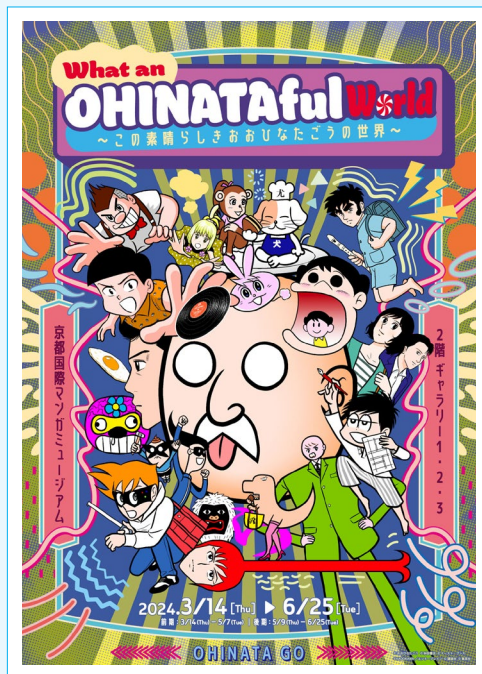
監修

おおひなたごう

実施概要 2022年に、地元である秋田の横手市増田まんが美術館で行われたおおひなたごうの漫画家30周年記念展覧会の巡回展。2022年当時展示されたものをベースに、一部は同じ作品の別ページに入れ替え、また横手展終了後に連載がスタートした「レコード大好き小学生カケル」のパートを追加した内容になっている。●展覧会は、おおひなた本人の監修の元、32年間の漫画家人生の作品を4期に分け、更にデビュー前の子供の頃を一つの期間とした上で、黎明期(デビュー前、量産期(1991年～2001年)、迷走期(2002年～2011年)、激変期(2012年～2020年)、成熟期(2021年～現在)と名づけて展示した。それぞれの分期にはイメージカラーを与え、より明確にその時期の雰囲気を感じさせる展示にしている。●おおひなたごうがデビューした91年は、日本のマンガ業界が黄金期と呼ばれる95年に向けて成長した時期で、迷走期に入っている2005年は単行本が雑誌の売り上げを超え、「激変期」には電子書籍が紙媒体のマンガの売り上げを超えた2019年が含まれている。おおひなたは時代に合わせて変化する作家で、氏の活動を追うと、これらの時期に対応していく一人のギャグ漫画家の姿が明らかになっていき、当時のギャグマンガ界における山と谷の時代を読み解くことができるだろう。●この展覧会は、おおひなたごうの個人の作家人生を披露しながら、その中に見られるマンガ業界の激動の時代を覗き見ることができるものになっていた。

[文責=具本媛]

フライヤー



フライヤー。(デザイン=上岡杏子)

©おおひなたごう©秋田書店©イースト・プレス

©KADOKAWA/エンターブレイン©講談社©集英社

報道

- ・『リアルサウンド』2024年4月6日配信
「おおひなたごう」はやく『レコード大好き小学生カケル』を描き上げたい」
漫画家人生を振り返る展覧会開催」
(<https://realsound.jp/book/2024/04/post-1622890.html#>)
- ・『毎日新聞』2024年6月18日
「デビュー作原画、私物レコードも おおひなたごうさんの作品展示 京都国際マンガミュージアム」
(<https://mainichi.jp/articles/20240618/ddl/k27/040/293000c>)

関連イベント1

トークイベント「おおひなたごう×吉村和真」

日時

2024年6月1日[土] 14:00-15:30

会場

京都国際マンガミュージアム 1階 多目的映像ホール

出演者

おおひなたごう(マンガ家、京都精華大学マンガ学科新世代マンガコース教授)/
吉村和真(京都精華大学マンガ学部教授)/
ユースギョン[司会]

主催

京都国際マンガミュージアム/京都精華大学国際マンガ研究センター

関連イベント2

「『レコード大好き小学生カケル』レコードリスニングパーティー&かとうれい子ミニコンサート」

日時

2024年4月27日[土] 14:00-16:30

会場

京都国際マンガミュージアム 1階 多目的映像ホール

出演者

おおひなたごう(マンガ家)/かとうれい子(歌手)

主催

京都国際マンガミュージアム/京都精華大学国際マンガ研究センター

関連イベント3

おおひなたごうによるギャラリートーク

日時

1 2024年3月16日[土] 17:00-18:30

2 2024年6月22日[土] 17:00-18:30

会場

京都国際マンガミュージアム 2階 ギャラリー 1・2・3

出演者

おおひなたごう(マンガ家)/具本媛(京都精華大学国際マンガ研究センター)

主催

京都国際マンガミュージアム/京都精華大学国際マンガ研究センター

会場風景。
(写真撮影=
ディレクターズ・ユニブ)



会場風景。
(写真撮影=
ディレクターズ・ユニフ)

